

五足の靴

～与謝野寛ほか 5人組の青年～

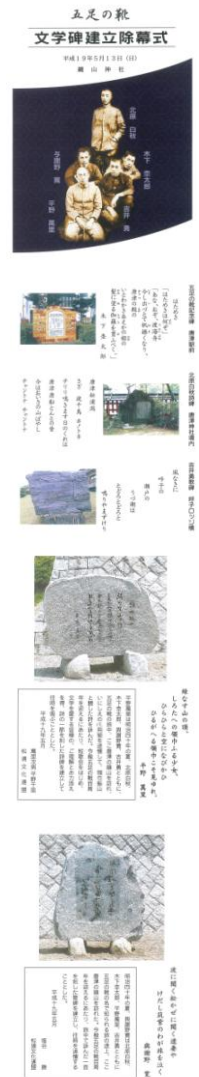
明治40年7月28日、東京から九州へ旅立った詩人の1行があった。

彼らは7月30日早暁広島県宮島駅におり立ち、以来8月22日東京に戻るまで九州を旅行することになる。一行は新詩社同人で、リーダー格の与謝野寛のほかに、「明星」を代表する青年詩人北原白秋、吉井勇、平野萬里、木下杢太郎ら、計5人で、寛の34歳を除いては、白秋22歳、勇は21歳とともに早稲田大学大学文科生、萬里は22歳で東京帝国大学工科大学生、杢太郎もまた22歳で東京帝国大学医科大学生と、いずれも学生であった。

彼らは巖島から赤間が関（下関）を経て7月31日に福岡に至り、そこから柳河・佐賀・唐津・佐世保・平戸・長崎・富岡・大江・牛深・島原・熊本・阿蘇・熊本・大牟田という行程をたどり、8月17日白秋の生家のある柳河に戻ったところで九州旅行は終わる。

さて、「五足の靴」とは、この旅の見聞記で、行程ごとにその都度「東京二六新聞」に送ったものであり、8月7日から9月10日まで29回にわたり掲載された。筆者は「五人づれ」となっていて特定の署名はない。リレー式に執筆したものだろうが、一応共同執筆の体裁をとっている。

◎地図・写真・統計資料など



(五足の靴 文学碑建立除幕式パンフレットより)

◎引用・参考文献（出典）

- ◆記念文学展 五足の靴の旅から百年（松浦文化連盟）チラシより
- ◆『五足の靴』
- ◆五足の靴 文学碑建立除幕式 パンフレット
- ◆松浦文化連盟資料

◎エピソード・伝承・うんちく など

松浦文化連盟では毎年「五足の靴」に関する活動を行っている。

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html